

交通系 I C カードシステム整備事業の概要について

1 事業目的

岩手県交通株式会社では、国土交通省の交通サービスインバウンド対応支援事業を活用し、地域連携 I C カードシステムの導入を県内において順次進めており、この度、大船渡営業所においても、同システムを導入し、公共交通の利便性の向上を図るとともに、利用促進及び交流人口の拡大を推進するものです。

2 地域連携 I C カードの概要

地域連携 I C カードは、バスの定期券やポイント付与など、地域独自のサービスのほか、Suica に対応した鉄道やバス、電子マネーの利用が可能な I C カードです。

3 補助内容

地域連携 I C カードシステム導入費用及び同システム用ネットワーク整備費用の6分の1を補助します。〔国（1/3）、県（1/6）、市（1/6）岩手県交通株（1/3）〕

※補正予算額：7,323千円

※令和6年市議会第3回定例会に補正予算案を提案し、可決後、実施に向けた事務を進めるものです。

4 整備概要

- 導入台数 15台
- 導入路線 丸森立根線、立根田谷線、綾里外口線ほか大船渡営業所管轄路線
- 整備機器 乗降口カードリーダー等車載機器、I C カード、運用システム等

5 想定される導入効果

- 乗車運賃精算のキャッシュレス化により、乗降時間の短縮や感染症予防が図られます。
- 既存の Suica や Suica と相互利用可能な他の交通系 I C カードも、利用可能となりますので、観光など、域外からの利用者の利便性が向上します。